

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
1	NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット	●	●		●	●				1. 講座依頼があり「環境問題の基礎知識」の中で、食品ロスに関して情報提供 2. 相模原市立の小学校7校において、1年生から6年生までの学年と支援学級において、合計15時間のSDGｓの出前授業を「食品ロスと食品リサイクル」をテーマに実施した。1年生には食品ロスうんこドリルを使用。他はデジタル教材を使用した。
2	一般社団法人あきた地球環境会議		●	●	●			●		・講師派遣事業において、教育機関（小・中学校）へ出向き、SDGsや環境教育の中で座学（食品ロスの現状等）、実践（省エネクッキング）を通して自分ごと化させている。 ・法人が運営している環境行動促進アプリ「あきエコどんどんプロジェクト」において、食品ロス削減に関するアクションメニューを設けており、様々な事業者と連携し、県民に対する食品ロス削減アクションを推進している（食べきり、てまえどり、値引商品の購入、フードドライブの利用）。 ・同アプリにおいて食品ロスに関する県民の意識調査を実施すると共に、食品ロスの現状等を啓発している。 ・漏上市の食育推進会議委員になっているサポーターがあり、委員として定期的に委員会へ参加し、自然体の活動へ助言している。 ・食品ロス削減を呼びかけるオリジナルパネルを作成し、地方公共団体主催イベント、当法人主体イベント等で啓発を行っている。口
3	特定非営利活動法人いちかわ地球市民会議	●	●	●	●				●	①2か月に一回の「いちかわ地球市民会議」定例会にて活動報告 ②市川市内小学校4年生授業にて 7月6日、エコクッキング実施（カレーライス・人参皮を剥かない・保温調理で食品ロスや省エネを啓発） 皆で楽しく、美味しいカレーの昼食でした。 ③市川市内小学校4年生授業にて買い物ゲーム実施 班ごとにカレーの材料を模擬スーパーマーケットで買い物。レジで支払う。全ての包装材に ついている数字を計算。材料費に追加して再計算。少ない数値ほど環境に優しい買い物。 2回の啓発からも、生徒達から、親御さんに伝える事で家庭での環境行動への影響は大きい。
4	特定非営利活動法人 なごや空地・空家管理センター		●	●	●					地元の中学校と協働でカレーライス（1千人分）を作り、地域住民に炊き出しを配布。その際に、食品ロス削減の取り組みについて、地域で勉強会を行った。（参加人数、500人～1千人程度）人数のカウントを行わなかったため。スタッフが50人、中学生が同数程度。
5	世田谷環境学習会	●								年に1回開催する『環境入門講座』（6日間）の中に、「食と農」に関する講座が1日あり、そこで「食品ロス」をテーマにした講義を行っている。
6	もったいないアンバサダー ベスタ	●	●							・地域サロンでの旬の野菜を使ったおやつ作り ・親子おやつ作り（家庭であまりがちな食材を利用） ・食品ロスに関するクイズ形式の啓発 ・イベントでのフードドライブ
7	京都市ごみ減量めぐくん推進友の会①	●		●						身近な地域のスーパーマーケットや 日常の買い物などに利用しているスーパーや、新聞などの新店開業するスーパーの案内を見つけたら、どのような取り組みをされるのか 買い物でらに見にいこうにしています。 四条堀川西側に 八百屋さんのような小さな店舗があるのですが、同大の小谷先生は結構推奨されていたが、私自身はこの程度なほかの店舗でもされているようにも思いました。それぞれの考え方の違いもあるので、評価するのは結構難しいかなと思っています。 数年前に五条のイオンの中で営業されている 八百屋さんのことを、努力されていると推奨しました。今お店に行きましても、そのポスターが今でも貼られています。他では余り見かけないように思っています。生協でも貼られていないように思います。
8	京都市ごみ減量めぐくん推進友の会②		●							食品ロス削減も活動の一つとしており、生活者の目線からの食品ロスを減らす知恵や工夫をまとめた冊子「食品ロスを減そう！」を、引き続き、地域のイベント等で配布しました。 また、同志社大学小谷ゼミの現役学生とコラボし、学生でも簡単に作れる残り物野菜を活用したラタトゥイユ、ポテトサラダ等のレシピや、野菜が長持ちする保存方法の実演などを収録した「食品ロス削減」動画をホームページで、引き続き発信しています。
9	滋賀県地球温暖化防止活動推進センター	●	●	●	●	●	●	●		・県内学生や地域の団体に対する出前講座で用いる教材の自主制作 ・イベントにおけるフードドライブ活動の実施 ・企業（飲食店）に対する生ごみの堆肥化提案 ・滋賀県CO2ネットゼロ推進課発行web情報誌「ネットゼロ通信」において「食品ロス」をテーマにした記事を制作
10	環境カウンセラー千葉県協議会	●	●	●						・団体設立25周年記念誌発行 今までの活動を振り返った。 ・サポーター向けメルマガジンを会員に展開・学び場合によっては理事会に諮り課題解決をする。 ・2人のサポーター向けフォローアップ講座をみんなの広場で再学習した。 ・地域連携推進フォーラムin佐賀のオンライン講座参加 ・食品ロス削減推進サポーター育成は新入会員と再受講によるレベルアップ ・地方自治体が開催する口座に講師派遣した。

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
11	特定非営利活動法人ピオスの会	●	●							> 生ごみリサイクルの普及啓発のための公民館講座を開催した際、食品ロス削減の現状と取り組みの必要性をプログラムに加え、受講者に伝えた。 > 生ごみリサイクルは、可燃ごみを減らすこと、「ごみ」とされてしまった食物の栄養を土にかえすこと、その栄養を植物の成長に生かすことを目的にしている。しかし、そのことの根本にあるのは、自然の恵みである食べ物を「有難く大切に思う」気持ちであろう。 > 「食品ロス削減ガイドブック」の内容に従い、食品ロスが発生することによる環境負荷、SDGsでの位置づけ、消費者の役割、食品ロスを減らす工夫、国の施策、当該自治体の取り組み等を紹介した。 > 受講者には、抵抗なく我が事として受け入れていただけたように思う。 上記の公民館講座は時間に余裕があったのでガイドブックからスライドを作成し、使用した。時間の余裕のないときは、生ごみの講座のスライドの中に食品ロスのスライド2枚（家庭からの食品ロスの量や位置づけ、減らしていきたいこと）を入れてお話しした。
12	木津川市こどもエコクラブサポーターの会	●	●		●					木津川市内の小中学校で、SDGsやエシカル消費、ごみ減量をテーマとした授業を行う時には、食品ロスの問題についても取り上げた。具体的には、SDGs学習については小学校2校（5クラス）、中学校2校（20クラス）、エシカル消費学習については小学校1校（2クラス）、中学校1校（6クラス）、ごみ減量学習では小学校2校（8クラス）で実施した。また、地域活動としてこどもエコクラブの野外調理活動時（年3回）には食べ切りを実践している。
13	一般財団法人 広島県環境保健協会	●	●	●	●			●		【公衆衛生推進協議会の活動】 支援団体に食品ロス削減の教材・メニュー作成し、提供することで、住民への普及啓発事業を行った。 「令和6年度食品ロス削減事業～食品ロス削減で脱温暖化大作戦～」を呼びかけ、県内14市町公衛協が19の取り組み（食品ロス削減の実践呼びかけ；9件、「食ロス」出前講座；9件、廃棄した食品のチェック；1件）を行った。約1200枚のアンケートも回収し、食品ロスの認知度や食品ロスと地球温暖化の関わりについての理解度を知ることができた。 ～アンケート結果のまとめ～ ①およそ1,200枚の回答があり、60歳代以上の女性が回答のボリュームゾーンであった。 ②食品ロス問題の認知率は95%と高いにも関わらず、50%以上の人が直近一週間内に食品を捨ててしまっていることが分かった。 ③定期的な冷蔵庫内のチェックを行っていないという回答が約30%あった。冷蔵庫内のチェックの習慣化で、食品ロス削減につながれると考えられる。 ④食品ロスが地球温暖化に寄与することは知っている（78%）が、どのぐらいの寄与率がまで知る人は（36%）まだ少なく、食品ロスと脱温暖化を達成するために、継続した啓発が必要と考えられる。 【地球温暖化防止活動推進センターの活動】 ①オリジナル冊子の作成（その1） 食品ロスを学ぶとともに、食べ残しゼロを目指し、チャレンジした記録を記入するなど、子どもが主体となって楽しく学ぶ仕掛けがある、オリジナル冊子「3 Rエコチャレンジ」を地球温暖化対策地域協議会と一緒に作成し、県内の子ども達に活用してもらった。 ②オリジナルツールの作成（その2） 主人公がお使いに行く様子を通して、「食品ロス」を削減する行動を考える、ジオオリジナルツール「食品ロス啓発紙芝居＆PPTX」を地球温暖化対策地域協議会と一緒に作成し、県内の地球温暖化対策地域協議会で活用してもらった。 ③学習会の実施 府中町及び、府中町脱温暖化市民協議会が協働で、当センターのオリジナル教材を活用し、食品ロスについての学習会を地元小学校で実施した。 ④フードドライブの実施 地球温暖化対策地域協議会及び、地球温暖化防止活動推進員が集まるフォーラムで、参加者に食べる予定のない食品を持参してもらう「フードドライブ」を実施した。集まった食品は、広島市社会福祉協議会へ寄付し、必要な方に使っていただいた。
14	エコマインドの会		●	●					●	千葉県地球温暖化防止活動推進員としてイベント等で市民に啓発活動を行いました。 ・食費やエネルギーの高騰については、今年も昨年度よりもさらに一層深刻となり、率直な意見を聞くことができました。物価高は本当に心配です。食品ロスはその次の話題となっております。
15	NPO法人ひまわり	●								団体内で食品ロスについてご家庭に啓発を行う。 地域企業と共同し、フードドライブを行っている。 「提供したい人」と「いただきたい人」を繋ぐかたちで「ひとり親家庭年越しバックお渡し会」を開催、今回で4年目。
16	尾花沢市食生活改善推進協議会								●	各家庭での食品ロス削減活動 団体主催料理教室での余り食材を使用した料理の紹介
17	徳島県生活学校連絡会	●						●		県内の各団体（13団体）がチラシを作成し地域に啓発し、フードドライブに取り組んでいます。事業者、家庭内で余った食品を集めこども食堂に持参もしくは、気団体でこども食堂を運営しているので消費しています。こども食堂を運営しない団体はひとり親支援として食材の提供を行っています。
18	泉佐野市食生活改善推進協議会	●	●							会員がそれぞれ自分の町会に「食品ロス」の啓発用三角柱（買物編・家庭編）を使って啓発活動を実施しました。 また、夏休み子どもクッキングで食品ロス削減啓発絵本「せんぶたべたよ！」を用いて、読み聞かせを実施、男の料理教室では啓発チラシ（基礎編・家庭編・宴会編）を配布し、「食品ロス」の啓発をしました。
19	雲仙市食生活改善推進員連絡協議会	●	●							地域での伝達活動において、だしをとった後の「だしがら」を使って佃煮を作る方法や、野菜のヘタや皮など廃棄部分を少なくする切り方など調理実習を通じて実践した。 食生活改善推進員養成講座において、管理栄養士、講座受講生と共に食品ロス削減を考慮した料理の調理実習を行った。サポーターは受講生7人に対し、野菜を使い切る方法など食品ロスを出さない工夫を伝達した。
20	久慈市食生活改善推進員協議会		●							・市民対象の食品ロス削減講座において、食品ロスを減らすためのコツについて講話と調理実習を実施した ・協議会内の研修会において、食品ロス削減を意識し調理実習を行った
21	宮崎市食生活改善推進協議会	●								食生活改善推進協議会の勉強会にて、食品ロスに関するコメントを発信。
22	朝日町食生活改善推進協議会	●	●	●					●	（個人経営者として）県の「もったいない山形協力店」に登録し、取り組みを促している。

令和 6 年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
23	白井市食生活改善推進員		●							白井市食生活改善推進員が、料理等教室事業での講話及び調理実習、調理デモンストレーションにおいて、野菜を無駄なく使う方法や過剰除去とならない切り方などの実践的な知識及び技術の普及を行った。
24	大石田町食生活改善推進員連絡協議会		●							いきいき福祉のつどいに参加し、食品ロスについてのアンケート、リーフレット（食品ロスの現状、冷蔵庫のお片付け、試食のレシピ）を配布した。試食では、冷蔵庫にありそうな野菜を皮ごと使用した豆乳生姜スープを提供した。
25	富津市食生活改善サポーター		●							市民を対象とした高齢者のため食生活教室・市内公立保育所にて、食品ロスにつながるポリ袋調理の紹介を行った。
26	青森県食生活改善推進員連絡協議会	●		●	●					・中学校で保護者向けミニ講話を実施。 ・子供、大人対象の料理教室にて、「食材を使い切る」「ごみをださない」「作りすぎない」を実施。 ・町の広報誌にコラムをのせる。 ・青森県は、農産物、海産物が豊富なので、それらを無駄なく使うレシピを考案したり、保存法など提案。
27	利根町食生活改善推進員協議会			●						年1回開催の地域イベント（地場の農作物の紹介、推進するお祭り）で「米」をテーマとして取り上げた。来客者に対し、米の流通や消費、食品ロス防止のための普及活動を行った。
28	山形県鶴岡市食生活改善推進協議会		●							食生活改善推進員活動の一環として、地域伝達講習会にて市民へ普及、啓発を図った。
29	一般社団法人愛媛県晴活①	●	●	●	●		●	●		食品ロス削減について具体的な取り組みとして、家庭、事業所、行政など様々な主体が連携して取り組むことが重要と考え、企業、家庭用として公民館や企業様のホールをお借りして啓発活動講話等を行いました。家庭向けの講話では、買いすぎを 방지、賞味期限を正しく理解し、食べられる量を作るなどの工夫が可能という話、企業様向けは、商習慣の見直しやフードバンクを活用するなどの取り組みが考えられるという推進活動を行いました。また、行政は、啓発活動や食品リサイクル事業の推進など、地域全体での取り組みを促進したいというチラシと合せて懇談しました。
30	一般社団法人愛媛県晴活②	●	●	●	●	●		●		食品ロスの削減には、家庭で、また企業でそれぞれできる様々な取り組みがあるということについて啓発活動を実施した。家庭では、買い物前に在庫を確認し、必要な分だけ購入する、賞味期限を意識して使用するなどを挙げ公民館などで講話を行った。また企業向けの講話は、100人規模で開催した。また、食品リサイクルループの構築、フードバンク活動の推進など、様々な技術や取り組みを導入して食品ロス削減に貢献できることの啓発活動に取り組んだ。
31	音更町消費者協会	●								地域の消費者大会を主管し、「食文化の伝承」をテーマに食品ロスなどについての講演を行った。
32	石川県生活学校連絡会	●	●					●		フードドライブを実施し、福祉施設や学童保育所に寄付する活動。 業者からいただいたロス商品を多子家族等に配布する「子ども宅食」の実施 食品ロス削減の啓発「石川県新生活運動協議会ブログ」 メンバー全員で①買物前に冷蔵庫チェック②作りすぎない③残さず食べるを実践中
33	福岡県生活協同組合連合会	●						●		当連合会では、10月の「食品ロス削減月間」に消費者庁から頂いた「てまえどり」啓発ポスターとDATAでPOPを作成し、役員生協（12団体）に呼びかけ、店舗での掲示を行った。
34	東大阪市消費者団体協議会	●	●	●	●	●	●	●	●	6月14日に、トリモールでの東大阪市食育団体と「食品フェスタ」に展示・カードゲーム・アンケート調査をしました。10月12日に、環境啓発イベントECO東大阪にも参加しました。11月30日に東大阪市消費生活展に参加しました。3月には「日下リージョンセンター文化祭」にも参加予定です
35	生活協同組合/リシステム山梨長野							●		フードドライブ運動の展開
36	日本生活協同組合連合会							●		職場内でフードドライブを行い、地域のフードバンクへ食品寄贈を行いました。 485点、135kgの寄贈があり、提供した食品はフードバンクから約300世帯への食糧支援として活用されることになりました。
37	生活協同組合/リシステム千葉	●		●				●		組合員向けイベントでの広報。フードドライブの実施。産地での収穫体験と野菜使い切りレシピの紹介など。
38	特定非営利活動法人コンシューマーズサポート鳥取								●	随時開催される会食などで、常に食べきることを勧奨した。 県内の大学で開催された食品ロス削減の後援会に参加した。 自宅での食べきり、使い切りでなく、適度な買い物心がけた。
39	一般社団法人神戸市婦人団体協議会	●	●	●			●	●	●	○地域コープこうべの「食品ロス削減の取り組み」の研修会に出席し食品ロス削減の現状と課題も学び話し合う。 ○消費者学級でキエーロを勉強し参加者は自宅で実行している。フードドライブ商品をいただいでこども食堂に活用して子どもたちに配布している。 ○「食品ロスを減らしましょう」をテーマに婦人会の消費者学級に参加。講師をお願いして冊子を元に模造紙に大きく書いて2種のリーフレットを配布し身近で簡単な食品ロスの取り組み方について学習をした。 ○地域の会員とキエーロの勉強会を行いやり方を講習している。 ○リサイクル工房でフードドライブ回収ボックスが設置されているので取組を周知していただけるよう啓発活動をしている。 ○リサイクル工房で食品の余ったものを収集し（米、お菓子）子ども食堂に配分した。 ○地域のこども食堂や給食会・デイサービスでキエーロや食品ロスについて啓発活動。子ども食堂ではフードバンク活動、フードドライブをしています。リサイクル工房ではトライアルの中学生にキエーロやフードロスの講座を開いた。 ○デイサービスにて利用者高齢者対象に一人暮らしでの食生活からおこる食品ロス問題、お惣菜などのリメイク方法などもったいない世代のアイデア意見交換もしました。 ○婦人会の会合や地域の会合で若い年代の3人に本をお貸して60人の前で研究発表をしてもらいました。 ○休みに実施しているこどもたちの食事支援にコープこうべのフードバンクやフードシェアを活用している。 ○主夫を始めた方々に食料が残った分の処理の仕方（冷凍など）をアドバイスしている。 ○1週間のメニューを考えて買い物する。旬の食材を使う→おいしくて安価 ○残った食品のリメイクをグループごとに発表。 ○消費期限の近い食品を持ち寄り食事会をした。 ○食品だけでなく家で使えずにあるものをもちよりバザーした。 ○手作りの乾燥野菜を持参し安全安心簡単に作れることを見てもらった。 ○家庭で余っている物や消費期限のせまっているものを手軽に持っていく場所を口コミでお知らせする努力をした。 ○買い物は手前から取るようにしている。 ○冷蔵庫の整理、中身の見える容器を活用、食材の在庫をボードに記入する。

令和 6 年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
40	NPO法人 青森県消費者協会	●	●	●						○当協会主催の「第58回青森県消費者大会」を令和6年11月6日に開催し、出展団体による展示・即売コーナーを設置した。出展14団体の内3団体が「エシカル消費拡大」、「エシカルアンケート」、「食品ロス削減に係る展示、パンフレットの配布」のコーナーで「食品ロス削減」について啓発を行った。参加人数：171名 ○青森県からの受託事業として実施している「県民を対象とした移動消費生活講座」において、エシカル消費の説明の中で「食品ロス削減」を取り上げた。講座開催回数：60回 参加人数：2,601名 ○県・市町村や各種団体等が開催したイベントに参加し、エシカル消費のコーナーの中で「食品ロス削減」を取り上げた。 参加回数：21回 参加人数：6,262名
41	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）	●	●	●	●	●	●	●	●	①地方自治体や消費生活センター主催の市民講座、自治体のイベントに参加しての啓発、大学、高校、社会人大学、小学校、サポーターの属する自治会や生協等での啓発講座を合計39で実施、1553人（個人）＋80世帯の参加を得た。フードバンク活動の支援、知人や友人グループでの呼びかけも活発に行われた。②企業の社員教育に出講、企業へアドバイス、地元の食品企業の食品ロス対応を提言、フードバンクやフードドライブと連携して活動を行うなど多様な活動を行った。③各支部が作ったNACSYouTubechannel（下記）を啓発活動に活用し好評を得た。④オンラインで会員サポーター対象にフォローアップ講座を開き消費者庁による講義を受講。最新情報を得ることができた。⑤消費者庁新未来創造本部の令和6年度実証事業に協力し、消費者庁のガイドブック概要版を用いた食品ロス削減講座を対面4回オンライン2回の計6回実施した。⑥オンラインで全国のサポーターを結びサポーター活動報告会を実施し、具体的な活動を共有。サポーターの意欲向上につなげた。
42	苫小牧消費者協会	●	●	●				●		・出前講座を増やす（今年度3回だが、町内会・長生大学・子ども食堂他に呼びかけ新年度講座開催依頼）、食品ロス削減推進サポーターを増やす（今年度2名登録、合計15名）・登録後サポーターの学習（フォローアップ講座を受講、取得後も育成講座受講）・市の消費生活展に出展（当協作成食品ロスポスター2枚展示、食品ロスクイズを作成し、来場者に参加呼びかけ96名参加、フードドライブ呼びかけ）・サポーター内部学習会開催1回・当協会入口にフードドライブコーナー設置
43	東都生協杉並区連絡会	●	●							学習会、活動交流会などでの啓蒙活動。 地域の消費者センターでのポスター展示。
44	町田市消費生活センター運営協議会	●		●						・講演会で、以前、南極地域観測隊で調理師をされていた渡貫淳子氏を講師としてお迎えした。厳しい環境・限られた食材・徹底的なごみ削減の中で、如何に食材を無駄にせず、隊員たちの健康を支えたかという体験談をお話いただいた。講演会後のアンケートでは、受講者の概ねの方が「とても印象に残る良いお話してあった。食材を無駄にせずゴミを少なくする意識を大切にしたい」というような感想をいただいた。 ・米粉を使ったレシピを作成し、イベントで配布した。
45	くれ環境市民の会	●	●	●	●			●	●	・食品ロス削減サポーター講座として、市を通じて市民からの要請に食品ロス削減啓発講座を出前 ・市の環境啓発事業、環境/パネル展へ食品ロス削減啓発展示 ・地球温暖化防止地域協議会主催のイベントで食品ロス削減啓発展示、フードドライブ実施 ・小学校へ食品ロスの出前講座 ・地域高齢者いきいきサロン等への啓発講座 ・企業と協働でのフードドライブ活動実施 ・フードバンク活動実施 ・食品ロス削減の為食品ロスと社会福祉活動を繋ぐコーディネート実施
46	群馬県食生活改善推進員連絡協議会	●	●	●					●	・食品ロスの話(食品ロス量、食品期限表示について) ・調理実例として、大根まるごと使うメニューの紹介。 ・今日から出来るロス削減方法として、冷蔵庫編、食品庫編を説明した。 ・料理教室等において、食品ロスを防ぐための活動をした。 ・健康祭りにおいて試食提供時に配布したレシピに食品ロスについて表記し、啓蒙活動とした。 ・食品ロス減らす3つのコツ！！①買いすぎない②作りすぎない③食べ残さない、を提案した。 ・農業祭で食改推がけんちん汁を作り、来場者に無料配布し、廃棄される野菜の皮を使用した天ぷらを試作し、各家庭で野菜を無駄なく、捨てる前に再利用をするための啓発活動を実施した。 ・料理教室にて、野菜の切り方（ロスの少ない）、作り過ぎない、食材を生かし美味しく作る等を伝えた。 ・料理教室の取組の中で廃棄物について話をした。調理過程で出た野菜の廃棄物などをゴミバケツの上に捨ててもらい、どれだけ廃棄物が出たか目に見える形にした。 ・残飯を出さない工夫について、伝える活動をした。
47	たすけあい							●		週1回の無料食品配布、月1回の無料食品配達
48	特定非営利活動法人 フードバンク横浜	●		●	●			●		農林水産省より支給された政府備蓄米を弊団体主催のひとり親食料配給支援会にて配給した際に、農水省の食育・食品ロス削減に関するパンフレットを同時に配布して啓発活動を行った。横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校にてSDGsに関する講演を行った(2024年3月)、フェリス女子学院大学国際交流学部〃〃食料問題から見る世界と日本〃〃の講座にてSDGsに関する講演を実施した(2024年10月)。神奈川県ロータリークラブと共同で横浜市神奈川区民まつりにてフードドライブを実施、来場する区民に対して食品ロス削減のPRを行った(2024年10月)。毎週の弊団体のひとり親支援会に、高校生・大学生ボランティア受け入れその現場で啓発を行った。
49	特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川	●	●	●	●		●	●		県と協働で消費者月間で食品ロスの啓発活動と、フードエクスチェンジ（不要な食品を交換）など市民参加型のイベントや、中学校、高校の探求学習として、食品ロスが及ぼす環境への影響やSDG s 推進するための課題などの授業を実施。食品の有効活用の提案により、食品提供企業を増やすのと、利用団体に向けて活用だけでなく、食品衛生や管理などの学習会を実施。神奈川県以外での活用の相談に応じて、県外のフードバンク等と連携して期限内に活用するなどを実施。
50	認定NPO法人セカンドハーベスト京都①				●					私たちフードバンクの活動テーマの1つである『食品ロス削減』を目指し、2019年10月より「食品ロス削減のための出前授業」を実施しています。小学校・中学校・高等学校・大学や市民団体などで実施し、昨年度までに延べ2,350名の方々に受講して頂いています。今年度は、7ヶ所399名の方々に受講いただきました。
51	特定非営利活動法人サテラ							●		フードバンク活動

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
52	一般社団法人 食品ロス・リポーンセンター	●	●	●	●		●	●		食品ロスに関するデジタル教材の開発とその教材を使った出前授業の実施。 エコフィードで育てた豚肉を使った学校給食の提供。 食品リサイクル施設、焼却場、最終処分場の親子見学ツアーの開催。 相模原SDGsエキスポの展示とアンケート調査の実施。 mottECOコンソーシアムと相模原市廃棄物管理課と共催による飲食店向け啓発活動。 相模原市社会福祉協議会、子ども食堂と大手企業、自治体をマッチングするフードバンク活動。
53	もったいないNARA			●				●		市民生活協同組合ならコープ等から寄託された未利用食品等を奈良県内の他のフードバンク団体や福祉団体等に配布する活動を行うとともに、他団体が主催するセミナーへの講師派遣や、イベントへの出展を通じて食品ロス削減の啓発活動を展開している。
54	認定NPO法人セカンドハーベスト京都②				●					京都市内公立小学校5校、私立中学高等学校1校、企業1社に対して、食品ロス削減のための出前授業を実施しました。
55	株式会社 office 3.11	●	●	●	●	●	●	●		講演・講義 http://www.office311.jp/lecture.html 書籍出版 http://www.office311.jp/report.html メディア出演 http://www.office311.jp/media.html Yahoo!ニュース https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/iderumi?page=1 朝日新聞 SDGs ACTION! https://www.asahi.com/sdgs/column/ide/ ニュースレター https://iderumi.theletter.jp/
56	アマゾンジャパン合同会社			●						当社拠点における食品ロス削減イベントでの啓発活動
57	株式会社食品安全推進センター								●	周囲への啓発活動
58	株式会社minitts	●								売上の上限を定める事で、フードロス削減（ゼロ）に繋がり、利益率も向上するというお話を年間50回ほどの講演会で行っております
59	一般社団法人i-Sora	●		●						当法人主催イベントでのフードドライブボックスの設置および集まった食料品を地域のフードバンクへ寄付 当法人主催イベントにおいて啓発用の冊子配布、食品ロス啓発ポスターの掲示を行った
60	株式会社アルファ							●		食品小売店に対して「食品ロス削減プログラム」の導入促進活動をおこなった。 食品ロス削減プログラムの実施にあたり、現場スタッフがプログラムに注力できるよう、告知物の製作フォローをおこなった。
61	株式会社ハロース		●				●	●		食品ロスを困窮団体に提供 年間350トン（3億5千万円相当）
62	合同会社ファンタイム（スーパーマルヤス）								●	・弊社が運営する駅あり食品スーパー「マルヤス」にて、食品ロス削減の啓蒙ポスター等の制作・掲示。 ・マルヤス店内におけるお客様たちへの駅あり食品試食実施での食品ロス削減啓蒙。 ・食品ロスについて学びたい社会科見学や修学旅行生、大学ゼミ生などの企業訪問受け入れ、案内。 ・食品ロスをテーマとした内容のテレビ取材時の対応。 ・支援を必要とされる方々への支援団体を通じての商品寄付。
63	株式会社日本有機四国	●	●	●						・事務所内（玄関正面のよく目につく場所）にポスターを掲示し常時啓発を行っている。 ・弊社有機質肥料の販売を通して、自分たちが食べるものを必要だけご自分で作っていただく楽しみをお伝えしている。 ・各種イベント（地方公共団体主催・その他主催）や講演時に本件の訴求を行っている。
64	ヤマサン食品工業株式会社	●	●						●	・2カ月に1回程度の頻度で、自社商品（印字不良のものに上からラベル貼したもの）をフードバンクに寄贈する ・年に2回、社内でフードドライブを実施、集まった食品を最寄りの福祉施設に寄贈する ・10月、消費者庁の食品ロス削減月間に合わせ、社内で食品ロス削減のためのPOPを掲示し、啓発する ・レーザープリンターの設備投資やUVプリンターの改修等により、印字不具合が大幅に削減して食品ロス削減になっている ・賞味期限延長のアイテム拡大により、食品ロス削減に取り組んでいる
65	株式会社Mizkan	●	●					●		①これまでも企業として食品ロス削減を課題として認識し、商品の製造、販売、プロモーション等での取り組みをしてきましたが、令和6年度から社内の有志が食品ロス削減推進サポーターとして活動したいという熱意をもって声をあげたことをきっかけに、サポーター活動の取り組みを始めさせていただきました。皆様これからよろしく願います。 ②推進リーダーが消費者庁の講習を受け、社内の有志を募集して2回のサポーター育成を行って、メンバーを14名に拡大しました。 ③本社の社員食堂において食品ロス削減を啓もうする掲示の実施 ④社内イントラネットでの食品ロス削減月間の呼びかけと川柳の募集 ⑤サポーター同士での家庭で実践できる食品ロス対策アイデアの意見交換と実践 ⑥間接的にサポーターメンバーの協力した活動としては、セカンドハーベストジャパン様と共同で食品の保管に関する悩みの解決のために現場での食品保管方法の検証と提言の実施、消費者庁食品ロス削減推進室長にご協力を頂いて、食品表示活用研究会での食品ロスに関する勉強会の運営のフォロー
66	ひるぜん塩釜キャンピングヴィレッジ	●	●	●				●		地域のフードバンクや飲食店などを交えた食品ロスのイベントを実施。子ども向けの食品ロス啓発冊子も配布し、食品ロスについて考えるきっかけの1日となりました。
67	公益社団法人盛岡法人会	●								・会員を対象とした研修会の開催 ・食品ロス削減推進サポーター育成講座の募集

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
68	株式会社ランドロームジャパン								●	・社内における食品ロス削減推進サポーターの増加（3名） ・農林水産省 令和7年恵方巻ロス削減に向けた取組事例の報告 など
69	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社							●		・自宅で余った食材など持ち寄り、横浜市内のひとり親世帯等に寄付するフードドライブを2025年1月に実施。段ボール8箱分の寄付をした。
70	特定非営利活動法人Lily&Marry'S	●	●					●		主に独自で取り組んでいる子供食堂の運営などを中心に活動いたしました。 私が中心となって企画させていただきましたイベントは下記になります。 「捨てられちゃう魚がいるって知ってた？『鮭を守ること・いのちをいただくということ』イベント」 ■ https://www.instagram.com/p/DDMY-tZPlMQ/?hl=ja&img_index=1 ■ https://www.instagram.com/p/DD3H1I3zv2s/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRlODBiNWFlZA==
71	広島文教大学人間科学部人間栄養学科	●	●	●				●		1.フードドライブ活動の取組み ・人間栄養学科1年生全員で、10月から11月にかけてフードドライブ活動を行った。活動にあたり広報用のポスターやリーフレットを作成し、地域住民及び学内に周知した。 ・活動場所は、11月3日の大学祭会場を主軸とし、近隣のスーパーマーケット、スポーツセンターで実施した。また、大学附属幼稚園及び附属高等学校にも協力を呼びかけ、食品の回収を行った。 ・協力して頂いた方に、食品ロス削減に関する啓発リーフレットを配布した。これも学生が作成したものである。 ・回収した食品は、仕分けをし、フードバンク「あいあいねっと」に持ち込み、地域の団体や家庭等への提供に活用された。 ・以上のフードドライブ活動は、広島市環境局環境政策課及びフードバンク「あいあいねっと」との協働で行った。 2. フードバンクでの食品仕分けボランティアへ参加 ・8月に2年生3名が、フードバンク「あいあいねっと」での回収食品の仕分け作業にボランティアとして参加した。
72	名古屋学芸大学管理栄養学部	●								教員は授業（調理を含む実習）の実施、学生は課題に取り組むにあたり、食品ロス削減を心がけ、周囲の学生にも食品ロス削減への配慮を促した。
73	広島文教大学SDG s 研究会	●			●			●		授業において、「食品ロス削減サポーター制度」について学習 地域のフードバンク「あいあいねっと」にボランティア参加 学内において、定期的に、フードバンクから提供された食材を学生に配布 学園祭において、フードバンクから提供された食材を配布
74	別府満都学園短期大学 食物栄養学科	●	●							○独自イベント「Mizobe食のフェスタ」にて高校生や地域住民等に対して食品ロス削減に向けたポスター掲示やパンフレットの配付 ○大分県と連携した「食品ロス削減推進サポーター研修講座」の開催 ○学生へ食品ロス削減に向けたチラシの配付と説明
75	社会福祉法人おおさわの福祉会	●						●		自法人での地域に向けたイベント、フードバンク活動 2回/年
76	連合愛知							●		連合愛知の構成組織 S 6 万人に対して、フードドライブ活動の依頼を行った。
77	NPO法人まち・ネット・みんなの広場	●	●	●				●		◆東海市リサイクル推進課からの委託を受けて運営している、3R推進ホームページ「とうかい3R」をリニューアルし、食品ロス削減に特化したページを作成しました。家庭でできる食品ロス削減のためのヒントや3Rコラムを毎月掲載しています。また消費者庁サイト情報で市民の皆さんに知って頂きたい情報を掲載し、啓発活動に役立てています。 ◆東海市に働きかけ、食品ロス削減月間に食品ロス削減レシビを広報とうかいの裏表紙に掲載するよう提案し、実現致しました。 ◆フードドライブは通年行っています。また強化月間として3月8月11月の3回、3Rイベントに合わせてピーアールし回収して地域の福祉活動に役立てながら、食品廃棄を減らしています。ホームページをリニューアルしたことで、市民・企業の方々の認知も高まりました。 ◆消費者庁から頂いた、子ども向けの食品ロス削減ドリルを8月のイベント時に小学生に配布しました。
78	東海学院大学管理栄養学科	●	●	●	●	●	●	●	●	学内の食品残渣を堆肥化し慣行圃場・有機圃場にて年間20種類の野菜を栽培し、出荷できない規格外野菜（農林水産省温室効果ガス削減見える化にて最高位の星3つ取得）を主軸とした食品ロス削減やエシカル消費の啓発活動を行政機関と連携し多数展開（幼小中高での出前講座、企業・地域へ講師派遣、ワークショップ、食品ロス削減レシビ本作成、食品ロス削減リメイク料理動画44本制作、環境・健康フェア開催、バーネルディスカッション開催、フードドライブ、ローリングストック、子ども食堂、規格外野菜Café「さらまんじゅ・とーかい」の運営、菓子工房での製造・キッチンカーでの販売等）している。2024年度の食品ロス対策関係の対面イベント参加者11,324名であった。食べきり運動の強化によって学内食品ロス量を昨年度に引き続き前年比0.64t削減し、2030年までの半減を目指す。また、規格外野菜等を利用した6次産業化の取り組みを産学官連携にて展開し、2024年度は18品の商品化を行い、商品を通じて食品ロス削減の啓発活動を展開した。引き続き市場に流通することのできない規格外野菜C級品を産学官連携にて商品化し、1ヶ月で10.2 t の規格外野菜の消費拡大を図った。
79	公益財団法人千葉県老人クラブ連合会	●								年間を通して老人クラブの各種会合でチラシの配布を行った。 1～2月に行った千葉県民を対象にしたイベントでチラシの配布を行った。 事務所の外掲掲示板にポスターを掲示した。

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
80	ひとえの会	●	●							・松沢地区ごみ減量・リサイクル推進委員会のフードドライブ（年間） ・世田谷区2R推進会議メンバーとして、会議に参加し、大学や食品事業者と情報交換 ・2024年12月9日に、つぐみの会からの依頼で、「食品ロスって何？～『いただきます』と『もったいない』～」の出前講座を行った ・2024年12月11日に、昭和女子大学からの依頼で、「SDGsと食・環境から見るエシカル消費」の出前講座を行った ・2025年2月17日に、上北沢ごみ減量・リサイクル推進委員会からの依頼で、「食品ロスって何？～『いただきます』と『もったいない』～」の出前講座を行った。 ・2025年2月19日に、太子堂地区社会福祉協議会からの依頼で、「食品ロスって何？～『いただきます』と『もったいない』～」の出前講座を行った。
81	あいち豊田農業協同組合	●								地元選果場で規格外となった桃・梨を使い、B級玉ねぎと合わせて「焼き肉のたれ」を自作する。 使用済みの天ぷら油を捨てずに「石鹸」へと加工する。
82	一般社団法人GRAF	●		●	●				●	【団体内での「勉強会」の開催】 食品ロスへの理解・関心を深める会を延べ6回開いた（ただし、一部同じ内容である）。「食品ロス削減ガイドブック」に書かれた内容を理解するインプットの時間と、自分の考えを書いたり、それを他者に伝えたりするアウトプットの時間の両方を設定した。 【高校生に対する啓発活動】 〈2024/12/11：N/S高等学校「外食同好会」とのコラボイベント〉 上記同好会と共同でオンラインイベントを企画・運営した。当日は、運営を含めて計7名が参加。ワークシートの項目を埋めながら、各々で「外食産業のロス」を減らす方法を考えた。 〈2024/12/16：横浜市立東高等学校PremiumProgram〉 「外食のロスを減らすには？」をテーマに、外食産業における食品ロスを削減する方法を考えるグループワークを主導した。50分×2回の授業には、延べ32名の高校生1・2年生が参加した。 【オンラインイベントの開催】 〈2024/8/25：食ロス団体交流会〉 食品ロス削減に取り組む14の団体が一同に介し、互いに活動を紹介し合ったり、意見を交換し合ったりした。 〈2024/9/29：当法人主催オンラインイベント〉 「食品のロスについて学ぶ」をコンセプトに開催したイベント。団体や「食品のロス」についての説明をするパートと、参加者同士の交流の時間を設けた。参加いただいたみなさんからは「分かりやすかった」「楽しく参加できた」という感想をいただいた。
83	おかやまエコマインドネットワーク	●	●		●					7月16日 岡山コープ様 会場 総社商工会議所 時間10～11時 参加人数約20人 提供 10月29日 倉敷市琴浦西小学校 5年生 50人 ハローズ琴浦店から提供 11月8日 倉敷市第5福田小学校 4年生 40人 ハローズ広島店から提供
84	生活協同組合コープデリにいがた	●								地域でのイベントや会議でフードドライブを呼びかけ、フードバンクや子ども食堂に食材を提供しました。
85	NPO法人ハッピーライド				●					対象が未就学児だったので、食べ物のいるな「もったいない」を分かりやすいアニメの動画を見せたり、いろんな状況での「もったいない」をみんなで考え発表してもらいました。また、余っているお菓子（今回はうまい棒を中心に）などをふりかけメーカー使って実際にふりかけを作りました。
86	高知県				●			●		（高知県の食品ロス削減事業として） ・小学校での出前授業 ・チラシを作成し、県民に配布 ・県民意識調査 ・実態調査 ・フードドライブ活動啓発動画を制作し、社会福祉協議会や役所をはじめ、SNSやデジタルサーネージ等で幅広く放映 ・てまえどり啓発資材を作成し、県内スーパーマーケットやコンビニエンスストアに掲示依頼
87	白馬村		●	●	●					地元高校と連携し、地元スーパーで街頭啓発を実施
88	板橋区消費者センター		●							エシカル消費生活展にて、エシカル消費啓発のための消費生活講座を開催。南極で調理隊員として活動していた渡貫淳子氏による、南極でのフードロス削減、ごみ削減の経験についての講演開催。
89	長崎県		●					●		平戸市主催の環境イベント『ひらエコフェスタ』にてフードドライブを実施し、地元フードバンク団体へ寄付
90	鉾路町		●							地域住民向けの食品ロス削減講座を実施。
91	鹿児島市消費生活センター	●		●						・当センター主催の研修会等にて食品ロス削減の普及啓発を行った（講和及びチラシの配布） ・当センター内の情報コーナーにおける特設コーナーの設置（パネル展示、チラシ及び本の配置） ・商業施設や学校でのパネル展の実施（パネルの作成及び掲示）
92	世羅町役場		●							住民への啓発として、ホームページや広報誌、ごみ出しカレンダーへの記事掲載、地域住民サロンへの出前講座を行った。
93	一宮市		●					●	●	フードシェアリングサービス「TABETE（タベテ）」を活用し、廃棄になりそうな飲食物などの食品ロス削減促進に取り組んだ。
94	熊本県	●	●		●			●		・生協及び県内4市と連携した事業者向けフードドライブの開催 ・県内高校での出前講座の実施

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
95	和歌山県循環型社会推進課				●					・県HPやSNS、ラジオ番組等による啓発 ・県内小学校などへの出前講座の実施 ・フードドライブの実施
96	奈良県	●	●	●				●		・奈良県食品ロス削減啓発イベント ・図書館での展示 ・食品ロスポータルサイトにおける情報発信 ・農産物直売所を拠点として、未利用農産物を希望することも食堂に提供し、活用を図る。 ・フードバンクに対し、活動の体制づくり、食品の受入及び譲渡体制の強化 ・職員を対象としたフードドライブ実施 ・リーフレット、啓発物品の作成・配布 ・「てまえどり」の啓発 ・食品ロス削減月間（10月）及び食品ロス削減の日（10月30日）、年末年始でのSNS等における啓発
97	堺市役所 環境局 環境事業部 資源循環推進課	●	●							・年間を通して食品ロス削減に関する出前講座を実施 ・9～10月にかけて市内7区役所で食品ロス削減講座を実施 ・食品ロスに関するパネル展を実施 ・イベントでフードドライブを実施
98	東松山市		●							東松山市役所庁舎で、フードドライブ活動実施。東松山産業祭において、フードドライブブースを開設して実施。 広報10月号で食品ロスについて、市民へ啓発活動。
99	福岡県 環境部 循環型社会推進課		●	●	●					・食品ロス削減マイスター兼食品ロス削減サポーターとして、県内の学校や地域の学習会に派遣。 ・食品ロスの現状と食品ロス削減に向けた福岡県の取組の紹介、家庭でできる食品ロス削減の取組についての講義やエコクッキング、クイズやグループワーク等を行った。
100	鳥根県								●	業務の中で食品ロスに係るSNS広報やポスター掲示等を実施、勧奨した。
101	港区消費者問題推進員 NACS（公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）	●	●							インターナショナルスクールの小学生と食品ロスについて消費者庁の冊子を使用して話をした。 第52回港区消費生活展でごみの行方、環境問題とエシカルを取り上げた絵本とおして、食品ロスについて学んでもらった。
102	京都市	●	●	●			●	●	●	・大学での出前授業 ・調理師専門学校での出前授業 ・ホテル観光ブライダル専門学校での出前授業 ・食育指導員研修会への講師派遣 ・令和6年度オール東京62第7回環境担当者研修会における事例報告 ・10月の食品ロス削減月間に、食品スーパーや百貨店等で街頭キャンペーン、フードドライブを実施 ・大学と連携し、食品ロス削減に係るクイズ、外国人観光客向けの食べ残り削減啓発リーフレットを作成し、京都市ホームページで公開 ・団体内でのフードドライブの実施
103	京都市（市民モニター）	●								市が発行している食品ロス削減に関するチラシを活動サークル内で配布しました。
104	長野県松本市役所		●		●			●		自治体としての啓発等の取組みはありません
105	熊谷市環境推進課	●		●						R6.5.18開催「エコライフフェア」及びR6.11.16開催「産業祭」において、NPO法人と連携しフードドライブを実施した。 また、R6.10.2に市政宅配講座「なくそう！食品ロス！」を開催し、市民への啓発活動を行った。
106	京都府		●	●					●	①府が主催するサポーター向けのセミナーで、今後、サポーターが啓発講座を実施するために参考になると思われる、事前打ち合わせのポイント、受講者の世代によって関心の高いテーマ、スライドが利用できない場合の代替方法など、今までの経験を元に具体的に説明した。 ②市が開催する環境関連のイベントで、食品ロス削減推進のための講演をした。現状のほか、家庭ですぐに実践できることの提案、SDGsとの関係、当日ブース出展しているフードドライブなど、主催者からの要望を元に内容を工夫して話した。 ③大学生対象に、SDGsやエシカル消費の説明のなかで、食品ロス削減のために、就職後、事業者の立場としても取り組むことの重要性を説明した。 ④大学の食料消費の授業で、学生が調べたことをベースに、現代の課題としての食品ロス削減について、取り組みの現状や期待されることを解説した。
107	白井市役所	●	●						●	・料理等教室事業にて、食品ロス削減の啓発や資料配布を行った。 ・料理等教室事業にて、白井市食生活改善推進員と連携し、調理実習等で実践的な技術の普及を行った。 ・食品ロス削減月間にあわせ、市広報に食品ロス削減推進の記事を掲載した。 ・食品ロス削減の取り組みを行うらしい食育サポート店は、その旨ホームページの店舗ページに掲載した。
108	白井市栄養士連絡会								●	食品ロスに関連する食育媒体を作成した。
109	秋田県	●								・出前講座で、地域の食育に携わる方々や保育園等で給食を担当する方々に、普及啓発を実施した。 ・食品ロス削減に関するイベントを実施した。
110	中泊町役場				●				●	町内の小学校及び中学校、町内その他団体等への出前講座

令和 6 年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
111	神戸市消費生活センター	●	●	●						以下、主に神戸市消費生活マスター(＝神戸コンシューマー・スクールを通して神戸市が養成した消費者問題の解決方法の提案ができる人材)が各自が行った取り組みについての回答です。 ・「くらしの中のお金」についての出前講座を担当しています。話の趣旨は、お金を増やそうとして、怪しい投資話や仕組みを理解できない金融商品に手を出して、お金を増やすことに奔走するのではなく、「無駄にお金を減らさない」という発想に切り替えましようというもの。その中で、食費を見直しの効果は大きく、食品ロスを減らすことが大切であることを伝えています。その中で、消費者庁などが発行している食品ロス対策のチラシ（野菜の保存方法や廃棄部分でもう一品作るメニュー）を配って事例を示すことで受講者の関心を引くようにしています。 ・神戸市内で常設の食品パントリーを実施するNPO法人に、ドイツ人研究者とともに訪問し、見学および代表にインタビューを実施した。 ・神戸市消費生活センター「KOBEくらしのレポート」に食品ロス削減についての原稿を提出した。 ・まずは、「買い物をする時に、賞味期限の短いものから購入する。」「消費できる量だけを購入する。」「外食や自宅での食事を、食べ残さない。」といった個人の活動に取り組んだ。
112	広島市環境局環境政策課	●	●	●	●		●	●	●	①広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会（市民・事業者・行政で構成）による食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の実施 ・スーパーマーケットの店頭で、買物客に食品ロス削減の取組を呼びかける「ごみ減らそうデー」の実施 ・食品小売店、飲食店等を対象とした「食品ロス削減協力店」の登録・P R ・食品ロス削減協力店に登録する飲食店の一部で、来店客が提供された料理を食べきった際に地域発行ポイントを付与するキャンペーン「ぶちええね！食べきりキャンペーン」の実施 ・環境イベント等への出展に合わせたフードドライブの実施 ・生ごみリサイクル講習会やエコクッキング教室の開催 ・ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開 ・食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」の開催（令和5年10月29日開催） ・スーパーマーケット等と連携した「てまえどり」運動の実施 ②学生等と協働で実施した事業 ・エコクッキングレシピの作成、教室の開催、動画の作成・YouTubeへの公開 ・フードドライブの実施 ・エコクッキングレシピ紹介のため、イベントでの試食の実施 ③その他の取組 ・広島市食品ロス削減推進表彰の実施
113	桜川市 市民生活部 生活環境課	●						●		令和6年度4月に開催された「SAKURAフェスティバル」において、「食品ロス学びのコーナー」を設け、ポスターを掲示するとともに、パンフレットや冊子のほか、食品ロス対策マグネット等のノベルティを配布しました。また、国民一人一日あたりの食品ロス発生量を体感できるようなクイズを行いました。「食品ロス」の削減と未利用食品の有効活用を目的として、フードバンク茨城と連携し、各庁舎に「きずなBOX」の設置を行いました。
114	山形県鶴岡市健康課		●							食生活改善推進員の会員研修にて啓発を行った。
115	東京二十三区清掃事務組合 清掃事業国際協力室	●							●	●親子向けに食品ロス削減の講演会の実施。 ●環境啓発イベントで食品ロス削減のパネル展示 ●親子向けに家庭でできる食品ロス削減ワークショップの開催 ●食品ロス削減のノベルティグッズ制作（廃棄予定の洋服から作ったコースターで啓発） ●食品ロス削減のためのパネル作成
116	GUFカンパニー			●		●	●	●		飲食企業へSDGsのゲームを行いながらフードロスなど学んで頂く研修
117	個人	●					●			個人参加なので団体活動は行っていない。地域のNPOや知り合いの飲食業者などに食品ロス削減サポーターへの参加呼びかけ、HP等の閲覧の広報活動の実施、自宅や飲食店での食品ロス削減の実施を行った。
118	個人	●	●							大分市と連携し市民へ講座を開いた。
119	個人			●			●			別途加入している合唱団での食品ロス等の講演や機関紙への投稿
120	個人		●	●						市川市と連携して市川市が活動を委嘱している環境活動推進委員の全体会議で食品ロス削減について講義を行った。 1、なぜ食品ロスを削減しなくてはいけないか（現状を知り、廃棄されゴミとなっている食品を削減することの意義を理解する） 2、身近な市川市で行われているフードバンクの紹介や食品をゴミにしないために一人一人ができることを確認した。 3、市内で行われている環境再生農業で作物を廃棄しない農業を知る
121	個人							●	●	個人的にコンポストの設置 エシカルコンシェルジュ仲間との交流会（情報交換会） 家族、知人へのフードロス啓発活動 決めた献立で余分な買い物しない（週2回買い出し）
122	個人		●							参加者に啓発チラシを配布した
123	個人			●	●			●		大学生と一緒に中学校や高校で食品ロスについての講演を行った。
124	個人	●	●	●	●		●	●	●	フードバンク活動、フードドライブ活動、食の輪プロジェクトでのアクセス強化活動などのほか、市民啓発の講座講演、学校での授業啓発を実施。今年度は特に、企業とフードバンク、子供食堂等を繋ぐコーディネートに成果がありました。また、防災備蓄食品の食品ロスを多量に提供されたので、これを活用して防災にかかる啓発講座を数多く開催することへ役立て消費した。

令和6年度食品ロス削減推進サポーター活動報告

任意回答 131団体（個人を含む）

NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組
125	個人 3名での活動		●							3月8日、港区立消費者センターで開催された消費生活展で、「食品ロスの削減～なぜ食品ロスを減らさなければならないか？」と題して、サポーター講座を受講した4名で食品ロスに関する展示を行いました。 ・第52回港区消費生活展において展示と紙芝居を行い、来場者に食品ロス削減について説明しました。 ・港区率消費者センターの廊下壁に資料を展示し、テーブルの上には、絵本やパンフレット、ぬりえなどを自由に見てもらえるようにしました。 ・紙芝居はデータを更新しリニューアルしました。紙芝居の最後には食品ロス削減のためにこれからやろうと思うことや日ごろ気を付けていることなどを葉っぱ型の付箋に書いて、模造紙の大きな木に貼り付けてもらう参加部分も取り入れて青々とした木が出来上がりました。 ・子どもたちにぬりえをお渡しし、大人の方々には普段の生活が食品ロスのどのタイプになるのか等チェックシートを通して、食品ロス削減への手掛かりになるようにしました。 ・今年度は消費者庁の食品ロス削減サポーター用テキストで1年間のごみ処理費用が2.2兆円、一人当たり17100円ということが取り上げられたので、食品ロスを減らすことがCO2削減とともにごみ処理にかかる税金の削減につながることを説明しました。 ・来場者公式発表では666名、そのうち256名ほどが食品ロスのコーナーで話を聞いてくれました。口
126	個人								●	産業廃棄物および一般廃棄物(プラスチック)のリサイクルを行っている企業に所属し、子供から高齢者まで多くの方にリサイクル工場見学やリサイクルに関する出前講座などの環境教育を行っている。 その環境教育の中で食品ロス削減についてもお伝えすることがあるという状況です。
127	個人	●	●							㊦ R6.1.17 市内に1つしかない消費者団体の会員に、調理実習をする中で、食材の使いまわし、保存方法、残った料理のアレンジ方法等を伝え、ちょっとした工夫で食材を無駄にせず、ゴミを減らすことができる旨を伝えた。 ㊦ R6.1.20 7.28 R7.1.18 尾張旭市の環境課主催で親子対象の3切りエコクッキングを実施した。食べキリ、使いキリ、水キリを学ぶと同時に、資源循環システムを小学生対象に、かみ砕いて実習の中で学んでもらった。 ㊦ R7.1.18 地域の公民館でSDGsにひっかけて、いろいろな視点から大根1本を料理してもらった。（例えば地産地消、旬の野菜、食材の無駄を減らす方法等） ㊦ R7.3.1 瀬戸市の環境課主催の環境塾で、親子対象に自分たちで調理し、食材の使いまわし、自分が食べられる分量を知るなど、生ごみを減らすにはどのようにしたらいいかを座学と実習で学んでもらった。
128	個人				●					チームで出前環境講話を行っています。2024年6月以降、講話資料を最新データに更新しました。タイトル「食べものが泣いている」について、チームメンバーが小学4年生50名に講話を行いました。
129	個人	●					●	●		勤務する株式会社サンプレッセにて、取締役会で承認された「フードロス削減チーム」の事務局となり、チームメンバーへの教育等を行った。その活動の一環でフードロス削減のために余剰食料品を特定非営利活動法人埼玉フードバンクネットワークへ提供することとなった。
130	個人	●	●		●			●		令和7年2月、朝霞市第6次総合計画前期基本計画作成にあたり、分野別市民懇談会において、環境教育、環境学習の推進において、SDGsと食品ロスについて佐久辺の推進に関する基本的施策の柱とするように提言する。7～8年前に国交省にCO2を排出しないクルーズ船舶について改良するように提言したことがあり、その後の状況について国交省に連絡した結果、環境にやさしいクルーズ船、代替燃料の活用などに係る取組事例となった。
131	個人	●	●	●			●	●		秋田県のエコフェス 由利本荘市の科学博 にかほ市での保育園 関内公募で学習会

参考）食品リサイクル										任意回答 2 団体									
NO	団体名	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者への助言	事業者連携（FB等）	その他	具体的な取組									
1	認定NPO法人 地域環境ネットワーク								●	エコアクション21の地域事務局としての業務の中で、登録事業者の食物残渣への取組みを支援している。									
2	富士食品工業株式会社								●	廃棄アイスや中華まんじゅうなどを飼料や肥料にリサイクルをしました。									